

R7年度 五反田小学校・努力点

1 研究主題

自分らしく 楽しく 学ぶ児童の育成

重視したい学びの姿	=	自分に合ったペースや方法で学ぶ 多様な人と学び合う 夢中で探究する	(ナゴヤ学びのコンパス)
-----------	---	---	--------------

2 研究のねらい

昨年度、生活科と総合的な学習の時間に焦点を当てた授業実践を行い、夢中で探究する児童の育成に取り組んだ。校外学習や出前授業の機会を設け、「ホンモノ」に触れる機会を設けたり、児童の疑問や探究心から生まれた「問い」を重視した学習活動を考えたりしたことで、児童が「もっと考えたい」「明らかにしたい」という思いや願いをもって学習を進める姿を引き出すことができた。また、学習計画表を活用した実践においては、「どのような方法で」「どのくらいの時間で」というように、自己選択・自己決定を繰り返しながら、主体的に学習を進めようとする姿を引き出すことができた。単元末に探究してきたことを発表する際には、ポスターや替え歌、クイズ、プレゼンなど、自分の得意を生かした表現方法を選択できるようにしたことも主題に迫るために有効であった。

さらに、「ナゴヤ学びのコンパス」の目指したい子どもの姿「ゆるやかな協働性の中で、自律して学び続ける」の実現に向けて、その具体的な児童像や教師が大切にしたいことについて年間を通して対話を重ねてきた。その結果、以下の2点の学習活動を取り入れることの重要性を見いだすことができた。

- ・ 一人一人のよさを生かした学習活動
- ・ 自己選択・自己決定を取り入れる学習活動

そこで、今年度は、研究主題を「自分らしく楽しく学ぶ」と設定し、教科等を限定せず、昨年度の成果を踏まえた上で、上記2点を新たな手立てとして取り入れた授業実践を行うことで、ナゴヤ学びのコンパスにおける目指したい子どもの姿の実現とその方法の具現化を図りたい。

3 研究の方法と内容

(1) 研究の方法

- ① ナゴヤ学びのコンパス、ナゴヤ・スクールイノベーション事業の取り組み、センター研究のまとめを活用して、授業改善に関する研修を行う。
- ② 情報を収集したり、他校の公開授業を参観したりしながら、授業改善を行う。
- ③ 収集した情報や研修の内容を生かして、授業実践の計画を立てたり、改善を加えたりする。
- ④ 授業実践を行う。
- ⑤ 授業実践の振り返りを行い、成果と課題を明らかにする。

(2) 手立て

- 一人一人のよさを生かした学習活動

キーワードグループ編成、得意を生かした表現方法、個の考えの共有、学級での練り上げの工夫

- 自己選択・自己決定を取り入れる学習活動

キーワード選択できる教材、選択学習、選択肢から自己決定、自由進度、発展的な学習、異学年交流

(3) 実践について

- 学年で年間1実践、1学期または2学期に授業実践（授業公開）を行う。部会で相談し、部会内で重ならないようにして、実践時期を決める。
- 実践する際は、実践内容が分かる資料（指導案・単元計画表・板書案・学習プリントなど）を用意する。資料の中で、
 - ① 二つの手立ての工夫
 - ② 各学年の実態から描く「自分らしく楽しく学ぶ児童」の姿がどのようなものか示しておく。
- 実践内容が分かる資料は、2日前までに全員に配布する。
- 教科等は問わない。